

京都府内産材 主要製材品標準価格表(KTS基準材) : 税別

平成26年6月30日現在

使用部位	樹種	乾燥	等級	寸法			単価		備考	
				T	W	L				
土台	ヒノキ	KD		105	105	4000	6,600	本		
				105	105	3000	5,000	本		
				120	120	4000	8,600	本		
				120	120	3000	6,500	本		
大引	ヒノキ	KD		90	90	3000	3,400	本		
				105	105	3000	5,000	本		
管柱	杉	KD	並	105	105	3000	3,300	本		
				120	120	3000	4,400	本		
	ヒノキ	KD	並	105	105	3000	5,000	本		
				120	120	3000	6,500	本		
	杉	集成材	並	105	105	3000	3,350	本	JAS、4☆、2種、使用環境C	
				120	120	3000	4,450	本	JAS、4☆、2種、使用環境C	
通し柱	杉	KD	並	120	120	6000	13,000	本		
				集成材	並	120	120	6000	14,000	本
	ヒノキ	KD	並	120	120	6000	22,000	本		
間柱	杉	KD	並	27	105	3000	850	本		
				30	105	3000	950	本		
				45	105	3000	1,400	本		
				27	120	3000	980	本		
				30	120	3000	1,100	本		
				45	120	3000	1,600	本		
	ヒノキ	KD	並	27	105	3000	1,300	本		
				30	105	3000	1,400	本		
				45	105	3000	2,100	本		
				27	120	3000	1,500	本		
				30	120	3000	1,600	本		
				45	120	3000	2,400	本		
小割	杉	KD	並	27	40	3000	390	本		
				30	60	3000	650	本		
				15	40	4000	290	本		
				20	35	4000	340	本		
				35	35	4000	590	本		
				45	45	4000	970	本		
	ヒノキ	KD	並	27	40	3000	580	本		
				30	60	3000	970	本		
				15	40	4000	430	本		
				20	35	4000	500	本		
				35	35	4000	880	本		
				45	45	4000	1,500	本		
				45	60	4000	1,950	本		
横架材	杉	KD	並	105	105	4000	4,600	本		
				105	120	4000	5,050	本		
				105	150	4000	6,300	本		
				105	180	4000	7,600	本		
				105	210	4000	9,800	本		
				105	240	4000	12,100	本		
				105	270	4000	14,800	本		
				105	300	4000	19,000	本		
				105	330	4000	22,200	本		
				105	360	4000	25,700	本		
				105	390	4000	29,500	本		
				120	120	4000	5,800	本		
				120	150	4000	7,200	本		
				120	180	4000	8,650	本		
120	210	4000	11,100	本						



## 府内産材 主要品標準価格表(KTS基準材)使用にあたっての留意事項

平成26年6月30日

(一社)京都府木材組合連合会  
会 長 辻 井 重

- 1 本単価表は平成26年6月末時点の価格表です。単価の更新は4四半期毎に実施予定。ただし、急激な物価の変動があれば価格が変動する場合有り。
- 2 価格表には京都木材規格(KTS)基準を満たすための管理費を含む。
- 3 京都府内現場O/T渡(荷卸し無)ベース。配達トラックは平車ベース。他府県渡しの場合は別途料金。
- 4 荷卸し、ユニック車、補助人員必要な場合は、別途料金。
- 5 数量は、小結束ベース(最小商売単位)の価格。(バラ出しは不可)
- 6 プレカットは、対応可能。別途料金。  
対応可能材料最大150x450x6000迄
- 7 構造材・造作材はJAS又はKTS基準材。
- 8 集成材・構造用合板はJAS、4☆
- 9 その他主要品目以外の、部材見積りは「木拾い表」を作成いただければ、見積りに応じます。但し、特殊な品目の見積場合、別途有料の場合有り。
- 10 構造図からの木拾いが必要な場合は、別途料金が必要。木拾い費用の見積りをさせていただきます。木拾いに必要な図面、仕様・仕上げ表は、提供願います。

### 標準単価表の説明

乾燥:KDと表示。仕上げ材⇒通常、モルター仕上げでSD18(造作材)、SD20(構造材)

未仕上げ材⇒ 荒木 でD18(造作材)、D20・D25(構造材)

但し、プレーナー仕上げ、超仕上げの1~4面仕上げ(指示が必要)は別途有料。

等級:「無節」「上小節」「小節」「並」の区分。

構造用合板の等級: A、B、C、Dとは表、裏面の等級(合板のJAS規格)。A、Bは化粧用注文生産、一般の下地材では通常表面がCグレード、裏面がDグレード。4

☆

4☆ : 低ホルムアルデヒドの放散量の基準。(土木用コンパネは3☆)

備考:SQ又はTG SQは スクエアーエッジの略で 実加工無し

TGは タング&グループの略で 本実加工

備考:集成材の ⇒使用環境により接着剤の基準が変更。構造用集成材は

「使用環境」使用環境A、B、Cの3区分

使用環境Cは、構造部材、屋内の環境、準耐火構造での仕様、強度性能、耐水性能、耐火は想定していない。